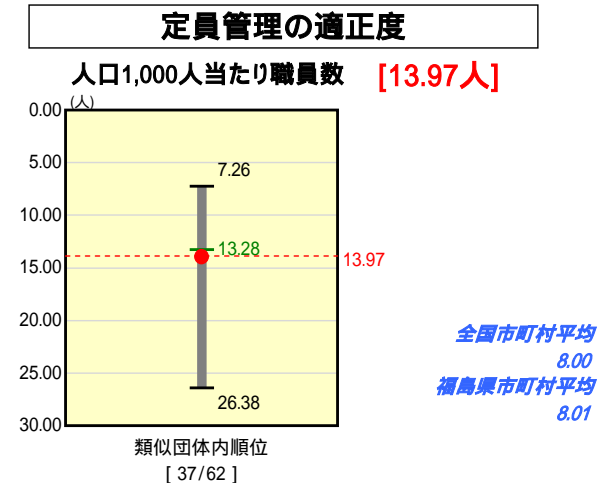
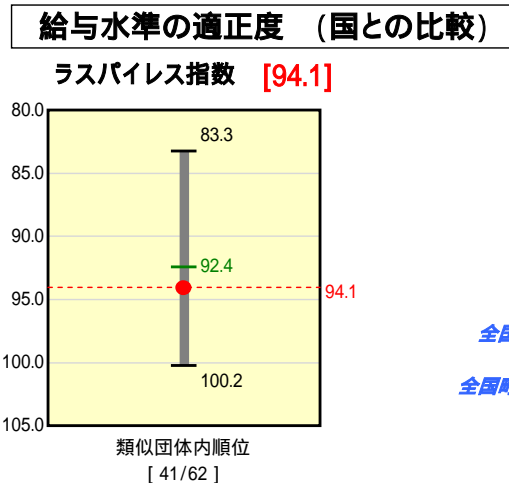
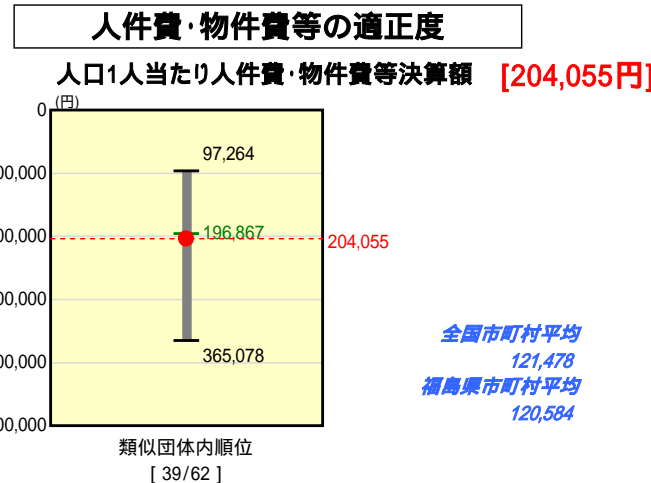
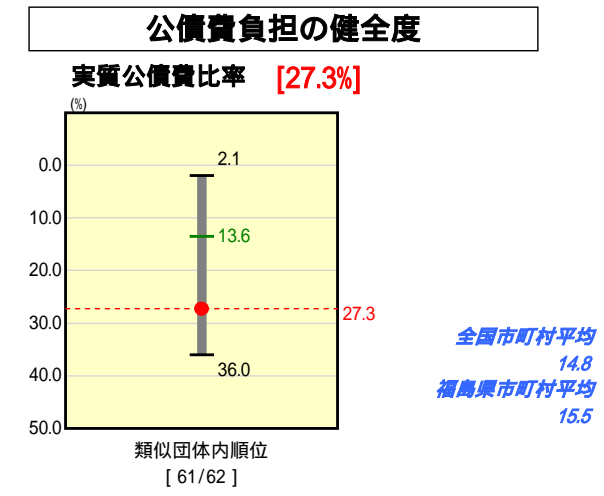
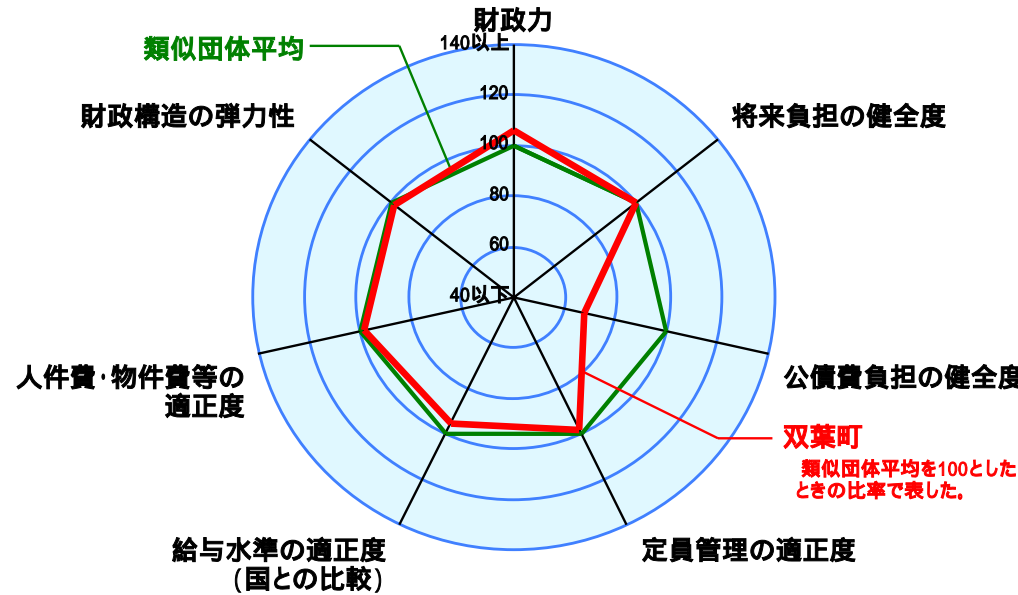
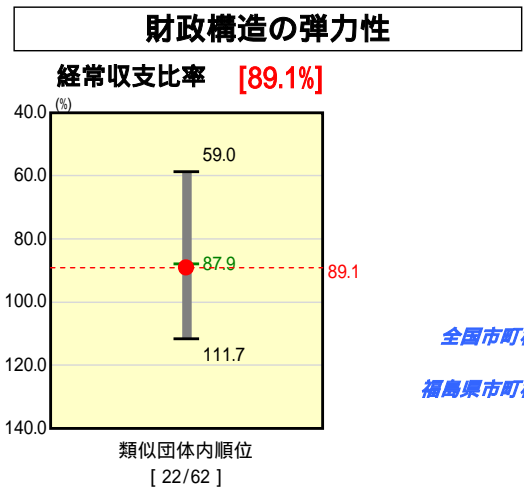
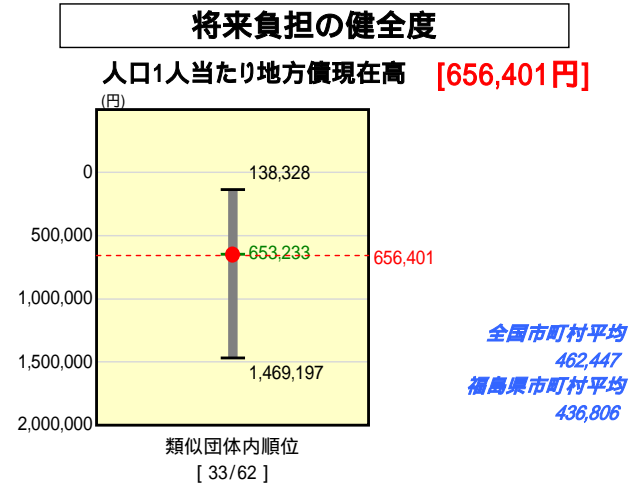
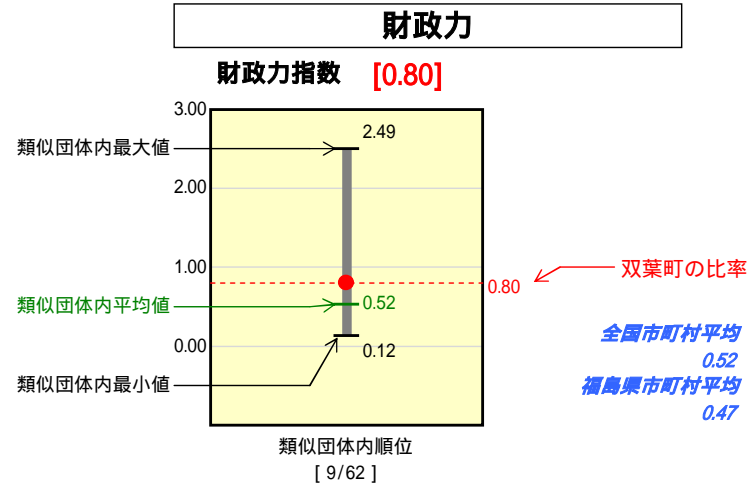


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福島県 双葉町

人口	7,445人	(H18.3.31現在)
面積	51.40	km ²
歳入総額	5,645,008	千円
歳出総額	5,512,724	千円
実質収支	98,564	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 本町には原子力発電所が立地し、発電設備に係る固定資産税が税収の約50%を占めている。しかし、その額は年々減少傾向にある。今後は投資的経費や公債費を抑制するなど、歳出の徹底的な見直しを図るとともに、税収の徴収率の向上対策を講じるなど、積極的に歳入(自主財源)の確保に努める。

経常収支比率: 公債費の圧縮に努めるとともに、定員適正化計画に基づき職員の削減を図る。また、行財政改革への取り組みを通じて事務事業を点検し、優先度の低いものについては計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

実質公債費比率: 類似団体平均を大きく上回っている。厳しい財政運営の現状を認識し、今後は公債費負担適正化計画に基づく大規模事業の見直し、地方債発行額の抑制、借換え、繰上償還等を行い、比率の低下を図る。

人口1人当たり地方債現在高: 普通建設事業費の緊急度、優先度を総合的に判断のうえ、総事業費を抑制するとともに、新規地方債の発行を抑え、財政の健全化を図る。

ラスバイレス指数: 現行の給料表は年功的な体系となっている。今後は職務・職責に応じた構造への転換を図るとともに、各種手当等の総点検等を行うなど、給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 事務事業の見直しや電子自治体化の推進により完全補充を見合わせ、平成17年4月1日から平成22年4月1日までに職員数7人を削減することを目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体とほぼ同じ水準にある。今後も定員管理・給与の適正化に努めるとともに、施設維持管理業務等への指定管理者制度の導入を図り、経費の抑制に努める。